

「もったいない学会」公開講演会in鳥取

概要 「もったいない学会」鳥取支部

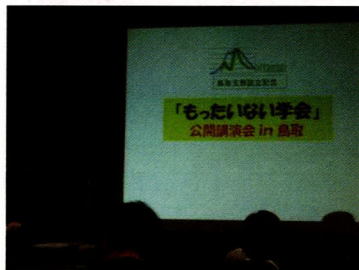
「石油ピーク」が迫っています。

「石油ピーク」は「農業ピーク」、「現代文明ピーク」でもありません。

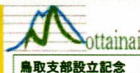
これからの基本は「脱石油」、「脱消費」、「無駄をしない」ことであり、もったいない精神の「脱消費社会」を目指す意味から「もったいない学会」が2006年8月に設立されました。

鳥取支部は2007年3月に立ち上げ、設立記念の公開講演会を開催しました。鳥取県が脱消費社会を標榜して、我が国の先頭を走り始めるまたとない機会であり、鳥取県が「脱消費社会」に向けた地域の自立を目指して、新産業創出や大学発ベンチャーの起業によって地域活性化に繋がりたいと考えています。

- ・ホームページのURL <http://www.mottainaisociety.org/>
<http://www.ecowind.jp> (鳥取支部)



「もったいない学会」 公開講演会 in 鳥取



石油にどっぷり浸かったこれまでの農業や生活はその質的変化が求められます。「もったいない学会」では、「石油ピーク」について正しくお知らせし、その対応の方向を一緒に考えために、東京、札幌に続いて第3回目の公開講演会を鳥取で開催します。多くの皆様と脱消費、鳥取の特色を生かした次世代の生活哲学を考えたいと思います。

日時 2007年3月19日(月) 14:00~17:30

場所 鳥取大学 工学部大講義室(幸太郎館21)特別教室

主催 もったいない学会(<http://www.mottainaisociety.org/>)、もったいない学会鳥取支部

鳥取大学発ベンチャー「自然エネルギー研究センター」(<http://www.ecowind.jp>)

共催 鳥取県、鳥取大学、(社)日本工学会アカデミー、科学技術戦略フォーラム

物理研究室、日本工学会、先端技術産業振興会。



講演 (14:00~17:30)

Key Note 講演

「石油ピークは農業ピーク、そして文明ピーク」

石井吉徳 (もったいない学会会長、東京大学名誉教授、
日本工学会アカデミー、科学技術戦略フォーラム代表)

「エネルギーの買をEPRで評価する」

天野浩 (もったいない学会理事、電中電研特別研究員)

パネル討論

「石油ピークを乗り越えて」

鳥取に持続性ある生存環境社会を構築するには?

コーディネーター: 村島 (もったいない学会理事、鳥取大学教授)

パネリスト: 石井 吉徳 (もったいない学会会長、東京大学名誉教授)

主催代表: 藤山 隆雄 (青アズバコンクリート代表取締役)

鳥取県代表: 安部 伸博 (鳥取県青年会議所 理事長)

鳥取大学: 山本 伸博 (鳥取大学 助教授)

自然エネルギー: 日本工学会アカデミー (鳥取支部 代表)

学会代表: 藤田 隆 (もったいない学会会長、鳥取大学教授)

共催 者: 石井吉徳、天野浩、藤村

懇親会: 鳥取大学・学生会館喫茶室 (18:00~19:30、会費 3,000円)

申込方法: mottainai@damp.tottori-u.ac.jp に氏名、所属をご記入してメール送信して下さい。

または、大学発ベンチャー「自然エネルギー研究センター」鳥取大学工学部・林研究室内

TEL & FAX 0857-31-5125へ直接お申し込み下さい。



*入場無料 懇親会参加は実費負担